

「福祉教育ってどんなことをするの？」
 そう思われる方もいるかもしれません。福祉教育
 推進事業「わいわい福祉ひろば」は平成6年に始まっ
 た社協の事業で今年で23年目を迎えます。

市内の障がい者や高齢者、またボランティア活動
 をしている方々がタレントとして小学校に出向き、
 児童や地域の方々とともに、わいわい楽しみながら
 「ふくし」について考えようという出前型の「ひろ
 ば」です。

「ひろば」は4つのコース（視覚、聴覚、肢体、エルダー）に分かれおり、それぞれの
 障がいを 持つ方や高齢の方の生活のようすを伝えたり、疑似体験をすることで、
 お互いを理解し、思いやりの心を育くむことを目的にしています。

「わいわい福祉ひろば」 4つのコース



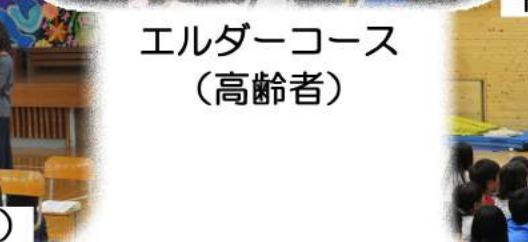
聴覚コース



肢体コース



視覚コース（点字）



エルダーコース
（高齢者）

「わいわい福祉ひろば」はこれまでの23年間で、市内すべての小学校で実施しています。
 前年度（28年度）わいわい福祉ひろばに参加した児童は延べ2,375名にもなっており、今年
 度に入ってから、すでに市内14校の小学校で798名の児童がわいわい福祉ひろばを受けて
 います。児童だけでなく、PTAなどで保護者の方も一緒に学習したり、また学校の先生を対
 象に「ひろば」を実施したこともあります。今後もますます「ふくし」の心が中津市内に拡
 がっていくよう実施していきたいと思っています。

■■■■■へんしゅうこうき■■■■■

11月も半ばになり、めっきり寒くなってきました。季節の移り変わりも早いもので、
 もう2017年が終わろうとしています。さて私がセンターに異動となり、はや7ヶ月。
 慣れない仕事に右往左往。いろんな方々に助けられながら、日々の仕事を行なっています。
 今年も残り1か月。みなさんに感謝しながら、新年を迎えたいと思っています。

月日の過ぎるのは早いもので今年も残すところ1か月です。

わたくし52歳にして遂に初孫が誕生します。孫は子どもより可愛いよ！の先輩方の話に・・・
 ばばバカにならないようにと思いますが・・・娘よりベビー用品の数は多いようで（笑）
 今か今かと首を長くして心待ちにしているこの頃です。

ボランティアコーディネーター：～わたなべゆかり～

全体のようす



心を育くむ福祉教育「わいわい福祉ひろば」

ボランティア・市民活動情報紙

ぺんぎん



え：よしだみずほ

11月号

No.227

2017年11月8日

《発行》中津市ボランティア・市民活動センター（中津市教育福祉センター内）

〒871-0021 中津市沖代町1-1-11 TEL 23-2095 FAX 24-7682

《ホームページ》http://www.nakatsu-s.or.jp/ E-MAIL volunteer@nakatsu-s.or.jp

グループ活動紹介

趣味が高じてのボランティア活動へ

中津ボランティアカメラマンの会『NAVCA』



《会員数》24名

男性：13名・女性11名

《設立》平成23年3月

《代表》田中 鞠葵

《連絡先》090-9585-0893

私たち「ボランティアカメラマンの会」は、通称
 NAVCA（ナヴィカ）と言います。中津市社会福
 祉協議会が主催した、「ボランティアカメラマン養成
 講座」の受講者が一丸となってボランティア団体とし
 て登録をしました。今年で発足して7年目になります。

他のボランティア団体との交流もあり、「アース
 デイ中津」・「水辺に遊ぶ会」・「みんなで遊び場をつ
 くろう会」などの団体主催のイベントがある度に依頼
 があり、記録写真としての撮影したデータを提供をし
 ています。会員はそれぞれ得意、不得意な被写体があ
 り、撮影しては毎週金曜日に勉強会を開催しています。また、月1回の定例会ではメンバー相互
 でカメラの使い方や撮影技術等の勉強会を行っており、また、メンバーに全日本写真連盟連
 の大倉さんがいるので撮影した写真の講評をいただきながら、少しずつですが上達をしているカメ
 ラが大好きな私たちです。撮影した写真も施設等での掲示の依頼のお話もあり、発表の場が出来
 てシャッターを切る楽しみが増えています。

こんな私たち、「中津ボランティアカメラマンの会」ですが、ご依頼があれば撮影させていた
 だきますので、ご連絡を下さい。



《会からのメッセージ》

写真に興味のある方、私たちと楽しく撮影をしませんか？福祉施設や
 地域のサロン等に協力をして頂き、撮影の体験ができます。
 初めての方、大歓迎です。連絡をお待ちしています。



ボランティアの出会い…NO.15

よしもい
吉森

しょうこ
晶子さん

～あの人のボラとの出会い
気になりますか？～

耶馬溪が大好き！！歴史が大好き！！



私が歴史に深く興味を持ったのは、両親が耶馬溪の柿坂で経営していた食事処「擲筆峰」（てきひっぽう）の名前の由来を食事に来たお客さんに父が説明していたことがきっかけです。そんな折、「耶馬溪の文化学習会」が開催され、広島から来られた方々に「頼山陽」の観光案内をしたことがボランティアとの出会いです。すると「是非この地の歴史観光案内をするべきだ」と勧められ、平成8年から28年の20年間を代表として活動をしてきました。年間約30回程度の観光案内をしてきました。名所「一戸・平田城・頼山陽・長岩城・新耶馬溪・裏耶馬溪」等の案内をする中、平成24年度に起きた、「九州北部豪雨」の紙芝居を作成してわかりやすく観光人を案内しています。現在は、日本遺産に認定された「耶馬溪遊覧」の紙芝居を作成中です。

私が長らく、観光案内としてボランティア活動をやってこれたのも会員の皆さんに恵まれていたと思います。これからは、一会員として、また、ライフワークとして身体の元気な間は、観光案内を続けて行きたい思います。

頼山陽が来て、来年で200年になります。有志らで、何か記念に残るような事をしたいと考えて、計画を立てている所です。

後は、これまでの活動を着実に続け、次世代につなげていけたらと思います。

今後は、これまでの活動を着実に続け、次世代につなげていけたらと思います。

ボラ募集 プレーパーク10周年 記念行事の開催

今年で、なかつプレーパークは、10周年を迎えます。記念行事として下記日程にて一緒に運営をしてくださるボランティアを募集します。

【活動日時】

12月17日（日）10:00～16:00

【活動場所】

中津市教育福祉センター内 なかつプレーパーク

【活動内容】

餅つき・くるくるパン・煮込みうどんお手伝い
竹馬・鬼ごっこ等の昔の遊びのサポート

【申し込み・お問い合わせ先】

みんなで遊び場をつくろう会

090-9498-5669

担当：原口



すずめの家17周年

祝



9月19日に沖代寄り合い所「すずめの家」が開所から17年目を迎え、お祝いをしました。当日は、通所しているメンバーを始め関係者が約40名が所狭しと集まりました。吉田代表の挨拶や全員の自己紹介、集合写真撮影したり、ケーキカットを行いました。豪華なお食事に堪能し、午後からはお楽しみ演芸会をしました。出前演芸班によるとじょうすくいや、日本舞踊、マジック、オカリナの演奏など盛りだくさんでした。最高齢の参加者は96歳の方でした。

代表は、「来年再来年と皆さんで元気で続けて行きましょう」と、お話をされていました。



グループ活動紹介

給食ボランティアグループ

『たんぽぽ』

今月のおすすめの一品 ジャガイモの明太子炒め

材料（4人分）

- ◆ジャガイモ・・・中3個
- ◆明太子・・・2腹
- ◆サラダ油・・・大さじ2



手順①

ジャガイモは皮をむき千切りにし、水にさらす。

手順②

明太子の皮を取り除く。

手順③

フライパンにサラダ油を入れ、水きりしたジャガイモを炒める。しんなりしたら、明太子を入れてからめる。



☆☆ 会のみなさんから一言 ☆☆

私達のグループは、市内で最も若いメンバーで給食ボランティアの活動を行っています。何時も笑顔で笑いの絶えない仲良しな「たんぽぽ」の会です。お弁当と、毎回お弁当に添えているメンバーの手作りの手芸も楽しみにして下さる方々がいらっしゃるので、これからも一丸となって手作りのお弁当をお届けしたいと思います。



気持ちを下げない言葉がけ

様々な人と話をする機会の多いボランティア活動・福祉活動は、コミュニケーションが基本。ただ、わたしたちはその活動の中の何気ない言葉にどれくらい気を遣って話しているでしょうか。

特に、長く活動をしていると、人との関係に“妙な自信”のようなものが生まれ、自分の言葉がすべて正しいかのような“直球”をついて相手に投げつけてしまい、気づかぬうちに相手の気持ちを下げていることがあります。「そのやり方はダメだよ」「年とって人はそんなことせんでいいよ。わたしがやるから」「あんた、昔はできよかったんになあ」...

など。言ってる人には何気ない言葉であり、状況によってはこれらの言葉が特に何も無い場合もあるのですが、人の心は複雑です。ボランティア活動の背景にある生活も様々なのです。もしかしたら、今日は家でいろいろあって寂しい想いがあったけど、ボランティア活動でみんなと会えるのを楽しみに来た・・・そんな時に言われた何気ない言葉に、いつも以上にショックを受けた・・・そんな経験はありませんか？

わたしたちは「傾聴」について勉強する機会もよくありますが、今一度、自分が発する言葉を自分の耳で聴き、自分自身が言われた時の気持ちへと思いを巡らすことで、お互いに気持ちを下げない言葉がけができるのではないのでしょうか？

ちょっとボランティア活動の中でおしゃべりの話題にしてみませんか？